ご門徒　各位

真宗大谷派福井別院
輪番　篠岡　誓法

毎月六度の定例会（ご案内）

―「東御坊同朋の会」―

令和８年度も「東御坊同朋の会」は以下のとおり活動いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

◆ どなたでもご参加いただけます
◆ 毎月6日・１３日・１７日・２５日・２８日
（午後1時30分始）

【テーマ】
６日「『歎異抄』について」
１３日「東別院について」
１７日「『正信偈』について」
２２日「お勤め練習」（正信偈・念仏和讃）
２５日「蓮如上人の『御文』について」
２８日「宗祖・親鸞聖人の生涯について」
※ 好きな日を選んでご参加ください。（複数・全日参加可）
※ ６・１７・２５・２８日の定例会の内容はライブ配信中

◆ 具体的な日程と内容の概要は裏面にて
◆ 会費は無料です。

【お問い合わせ先】
真宗大谷派福井別院（東別院）
（０７７６）－２１－４１００（代）

２０２６年（令和８年）３月１７日

【日程】毎月6・１３・１７・２２・２５・２８日とも同じ
１３：３０～　勤行（正信偈、念仏讃三淘）
１４：００～　解説（または、お勤め練習）
（休憩と質問）
１５：００　終了予定
※ ６・１７・２５・２８日はライブ配信中
※ 各日の詳細は、裏面「毎月六度の定例会」予定表を参照ください

【期日】毎月以下の日に開催

６日　歎異抄筆者の唯円大徳の命日

親鸞聖人の弟子・唯円が聞いた聖人の言葉と、当時起こった教えに異なった見解への悲嘆を記した『歎異抄』についてお話します。

１３日　京都・東本願寺の先代門首の御命日

蓮如上人御影道中や吉崎の歴史、東本願寺や福井東別院の仕組みや運営方法などについて、お話します。

１７日　正信偈読解

別院独自のテキストと『同朋新聞』の「正信偈の世界」「ひかりを伝えた人―七高僧と聖徳太子」を読みながら「正信偈」についてお話します。

２２日　お勤め練習（正信偈・念仏和讃）

２５日　本願寺８代・蓮如上人の御命日

蓮如上人の書かれた『御文』について、江戸時代の『御文来意鈔』（どのような経緯で８０通の御文が書かれたかが紹介されている書物）を読みながら、お話します。

２８日　宗祖・親鸞聖人の御命日

親鸞聖人の生涯を描いた「御絵伝」（絵画部分）の説明と「御伝鈔」（文章部分）の現代語訳をした上で、お話します。

東御坊の会「毎月六度の定例会」令和８年度　予定表

テーマに沿って別院職員がお話します

【会場】大谷会館２F仏間

	6日（歎異抄）	13日（東別院など）	17日（正信偈）	25日（御文）	28日（御伝鈔）
4月	**序** 歎異抄はなぜ書かれたか	**蓮如上人御影道中はいつ頃から始まったのか**	**なぜ阿弥陀如来をたのむのか** 帰命無量寿如来	【吉崎別院御忌法要参拝】	**弟子から見た親鸞聖人（八十四歳）** 「蓮位夢想」上－４
5月	**第１章** 阿弥陀仏はどんな人を救うのか	**なぜ、蓮如は吉崎に来たのか**	**阿弥陀仏の修行時代** 法蔵菩薩因位時	**教えは誰から聞くのがよいか** 「五重の義」２－１１	**往生浄土の証明（二十九歳）** 「選択付属」上－５
6月	**第２章** 何のために念仏を称えるのか(1)	**福井別院の成り立ち**	**様々な仏の国土を見る** 覩見諸仏浄土因	**他宗・他人を批評するな** 「立山白山」１－１４	**先輩への挑戦（三十歳頃）** 「信行両座」上－６
7月	**第３章** 悪人の救いとは	【永代経兼盂蘭盆会】	**この上ない願いを起こす** 建立無上殊勝願	**教を知らぬ者は作法にこだわる** 「数珠」２－５	**先輩への挑戦２（三十歳頃）** 「信心諍論」上－７
8月	**第４章** 仏は人の何を憐れむのか	**【おつとめ練習】**	**永い間考え抜かれた結果** 五劫思惟之摂受	**仏に上下区別なし** 「法華同時」２－８	**画家が見た親鸞聖人（七十歳）** 「入西房鑑察」上－８
9月	**第５章** 何のために念仏を称えるのか(2)	**秋の報恩講について**	**時代と国境を越えた救い** 普放無量無辺光	**仏の御恩を忘れないのが信心か** 「三経安心」１－１３	**罪人の生活（四十歳）** 「師弟流謫」下－１
１０月	**第６章** どうしたら念仏出来るのか	（休会）	**清らかで喜びにあふれた心** 清浄歓喜智慧光	**開山の一流相伝のおもむき** 「支證」３－５	**師・法然聖人との別れ（四十二歳）** 「稲田興法」下－２
１１月	**第７章** 念仏の功徳は莫大である	（休会）	**自然をも超えた力** 超日月光照塵刹	【京都本山報恩講参拝】	**山伏の改心（四十二歳）** 「弁円済度」下－３
１２月	【福井東別院報恩講参拝】	**福井別院と東本願寺の関係**	**如来の理想である行い** 本願名号正定業	**蓮如上人による仏敵の改心** 「唯能常称」３－６	**（歳末休み）**
1月	**第８章** 何のために念仏を称えるのか(3)	**福井別院と福井教区の違い**	**悟りを得て安らぎに住する** 成等覚証大涅槃	**念仏を称えるのは自力か？** 「十劫邪義」３－８	**京都へ帰る途中で（六十歳ころ）** 「箱根霊告」下－４
2月	**第９章** 念仏しない人はどうなるのか	**福井別院の体制について**	**仏がこの世に出た意味** 如来所以興出世	**吉崎退去後の大坂の報恩講で** 「毎年不闕」３－１１	**公務で熊野へ参詣する弟子に対して** 「熊野霊告」下－５
3月	**第１０章** 念仏は人知を超えた行ない	**福井別院の運営と会計について**	**我々の世界に仏教を広める** 五濁悪時群生海	**後生と今生は両輪の如し** 「当流門徒中」３－１３	**臨終、そして火葬・納骨（親鸞九十歳）** 「洛陽遷化」下－６

【２２日】
聖徳太子の御命日
赤本のお勤め（正信偈・念仏和讃など）を練習をします。

【日　程】　毎月６・１３・１７・２２・２５・２８日とも同じ
１３：３０～　勤行（正信偈、念仏讃三淘、次第六首）
１４：００～　上記テーマでお話　（休憩と質問）
１５：００　　終了予定

東別院LINE